

最近の天文のニュースや話題から (2017年3月)

人工の流れ星を「作る」!

みなさんは流れ星の大きさを知っていますか。次の中のどれでしょうか。

- ① 砂粒やあめ玉くらい。
- ② 人の頭くらい。
- ③ 黒石市の市役所くらい。

さて、どれでしょうか? 正解は...あとにして、今回はこうした流れ星を実際に発生させようという計画の話です。少し先のことですが、東京のある企業が、宇宙を身近に感じてもらうと計画しているそうです。具体的には二〇一八年に打ち上げる超小型衛星にビー玉大の金属球を五百個、千個積み込んで軌道に乗せ、翌年地上五百キロから放出し、空気との摩擦で発光させる、ということです。

この人工の流れ星は天気が良ければ、西日本の、直径約二百キロの範囲で見られるそうですが、残念ながら、青森県は、その中に含まれていません。二〇一九年に四国や中国地方を訪れる予定のある人はいませんか?

流れ星の大きさ正解は①

☆ 今月のおもな天文現象

◎ 3月上旬：金星(宵の明星)が見おさめです!

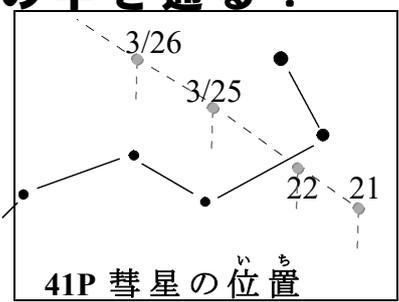
夕方の西空で輝いていた金星が高度を下げ、見づらくなってきました。このあと金星は、朝方、夜明け前の東天に回ります。4月下旬には「明けの明星」として朝方輝くこととなります。

◎ 3月中旬～：木星(-2.4等星)が宵の東の空に昇る!

いよいよ太陽系最大の惑星である木星が夜の空に登場です。たいへん明るいので、目立ちます。場所は、おとめ座の一等星スピカの少し上です。20時過ぎの東の空に注目です。小望遠鏡でも4個の衛星(ガリレオ衛星)がわかります。

◎ 3月下旬：41P彗星が北斗七星のマスの中を通る!

先月はエンケ彗星でしたが、今月は41P彗星(タトル・ジャコビニ・クレサーク彗星)が7等級の明るさで北斗七星のヒシヤクの水の入る枡の中を通過する予報です。右図→(3/22～3/25)双眼鏡か小望遠鏡があれば準備しましょう。



- ← 彗星の本体です。
- ← 尾の方向です。

この後、彗星は6等級まで明るくなる予報です。(一枚目北の星空を参考に)

◎ 3月29～31日：夕方の西空で細い月と火星が接近!

29日の日没直後、月齢1すぎの細い月と(運が良ければ)右に水星(-0.4等星)が見られます。上の方には1.5等の火星あり、30日の月がこれに近づきます。31日が三日月です。